



おくやみ
悔
富岡 勝則

皆さんこんにちは。

平成23年3月11日(金)午後2時46分、その時は突然やってきました。市議会の会期中だったので、私は市長室でその準備をしていたところでした。部屋中がぎしぎしと鳴りだしたので、「あっ」と思った瞬間、思いもよらない大きな揺れがやってきました。揺れが収まるまでにどの位の時間がたったのでしょうか。実際には1～2分だったかもしれませんが、私には5分にも10分にも感じたとても長い時間でした。

揺れが収まったあと、まずは気持ちを落ち着け、余震があるかもしれないので、市民の避難誘導を最優先に行いました。そして避難したことを確認し、職員を建物の外に出しました。震度5弱の揺れは、私にとっても初めての経験でした。

午後3時55分、災害対策本部を設置し、市内の被害状況の収集を行ったり、今後考えられる事案の対

応策を検討しました。まず、避難場所に指定されている公共施設に職員を向かわせ、避難所を開設しました。また、首都圏の電車がすべて止まっていたので、帰宅困難になる方がたくさん出ると思い、朝霞駅付近の方は「ゆめばれす」で、朝霞台駅、北朝霞駅付近の方は「産業文化センター」で、一晚寒さをしのいでいただくことにしました。結局、訪れた方は両方の施設を合わせて470人を超えたということです。「ゆめばれす」では、帰宅できなかった高校生が、避難してくる方の受付を手伝ってくれるという、心温まる話もありました。

今回の地震は、観測史上最大規模のマグニチュード9.0でした。市内にはそれほど大きな被害はありませんでしたが、福島原発の状況や計画停電が、今後どのように市民生活に影響を与えるのか目を離せません。これからも市民の皆様にとって最善の対策が取れるよう、市をあげて情報収集を行い、適切な情報を発信していきたいと思えます。

今回の震災では多くの方がお亡くなりになり、まだ避難生活を強いられている方もたくさんいらっしゃいます。お亡くなりになった方々に対し心からお悔やみを申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を願って止みません。

ではまた。

朝霞市配偶者暴力相談支援センター業務を開始します

市では、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）」に基づき、DV（*）被害者を支援するため配偶者暴力相談支援センター業務を開始します。

（*）DV（ドメスティック・バイオレンス）…DV防止法では、配偶者または元配偶者、事実婚等の相手から振るわれる、殴る、けるなどの身体に加えられる暴力や大声でどなったり、行動を制限するなどの精神的な暴力と定義しています。暴力の種類には、そのほかにも性的暴力や経済的暴力などがあります。

開始日／4月1日(金)

時間／午前8時30分～午後5時15分

場所／人権庶務課内

内容／

- ・DV相談の実施・ほかの相談機関の紹介
- ・DV被害者の安全を確保するための保護命令制度に関する情報提供
- ・DV被害に関する証明書の発行など

<DV相談>

日時／毎週月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分

相談方法／面接および電話（予約不要、先着順）。直接、人権庶務課にお越しいただくか、相談専用の電話番号（☎463-0356）にお掛けください。男女どなたでもご相談ください（相談無料）。秘密は厳守します。
※毎週火曜日（祝日の場合は月曜日）は、専門の相談員が相談に応じます（午前9時～午後5時）。

☎／人権庶務課 ☎2255 ☎463-2697

朝霞市は 男女平等を進めています

—市民意識調査結果から見てきたこと①— 「男は仕事、女は家庭という考え方」

朝霞市の男女平等の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進する「朝霞市男女平等推進行動計画後期基本計画（平成23～27年度）」を平成23年3月に策定しました。その基礎資料とするために、昨年6月に実施した「朝霞市男女平等に関する市民意識調査」の結果をシリーズで紹介していきます。

「男は仕事、女は家庭」という考え方について、「どちらともいえない」とした人が32.5%と最も多く、次いで「同感しない」と「どちらかといえば同感しない」を合わせた否定派が32.2%、「同感する」と「どちらかといえば同感する」を合わせた肯定派が31.1%と、否定派が肯定派をわずかに上回る結果となりました。しかし、平成16年7月に実施した同調査では否定派は39.6%で、この6年間で否定派が7.4ポイントも減少しています（20歳以上の数値）。

この結果から「男性がメインで女性はサブでいい」といった考え方に代表される、性別による固定的な性別役割分業意識がまだまだ根強く残っていることが分かります。

*このコラムは、「朝霞市男女平等推進事業企画・運営協力員」との協働により掲載しています。

☎／人権庶務課 ☎2255 ☎463-2697

ひとの推移

人口	13万0,444人（－57人）	世帯数	5万8,922世帯
男	6万6,630人（－56人）		（－49世帯）
女	6万3,814人（－1人）	平成23年3月1日現在（ ）内は前月比	